



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

夏
令和2年

会報 第72号

2020年8月

目次

巻頭「コロナ禍の中でも支援は手作業」
定期総会報告
第21回チャリティーコンサート報告
子どもの居場所担い手育成事業専門研修会
コロナ禍での居場所



月の家移転。6年間お世話になった建物に感謝。

コロナ禍の中でも支援は手作業

認定NPO法人ウィメンズハウスとちぎ 中村 明美（本会理事）

新年度はコロナ自粛の幕開けだった。あらゆる活動が停滞し、この停滞は一過性のものではなく、生活のありようが変わらざるを得ないのだと言われても、腑におちなかった。しかし緊密を防ぐために、アナログ人間の私までもがズーム会議でパソコンの前に座るようになり、少し納得した。

子どもや女性の支援の場はどうだろうか。相談もいち早くSNSの相談が登場した。もしもと呼びかける電話相談ではなくメールで悩みを伝え、相談員がメールで相談を受けメールでやり取りするという。そんなもので相談が成り立つわけがないと思っていた。しかし、現に子どもや若い女性たちのニーズにこたえSNSの相談件数が増えているという。おりしもコロナ禍では、家の中、家族で過ごす密な時間が多くなり、家族の問題が増えている。家族に聞かれないようにかけたい相談電話はメールでの相談も有効だろう。若い世代は対面や電話より、メールの方が伝えやすいのかもしれない。

虐待やDVの相談のホットラインは多くの相談者に広い間口を提供することになる。しかし、広い間口から電話相談やメール相談では解決できない深刻で重篤な虐待やDVなどが顕在化してくる。直接、暴力を受けて

いなくても家族からはぐれた未成年の問題も浮上する。とても電話やメールで解決できる問題ではない。多くの場合、相談機関を紹介されて相談の場を得るが、そこで相談だけでは解決しないのが、DVや虐待など家族による問題を抱えた青少年の問題である。

問題を抱えた青少年たちは「すぐには解決しがたい大きな荷物」を抱えて、生活を丸ごと「星の家」や「はなの家」に委ねられる。彼らが抱えている「大きな荷物」を解くのにスタッフはどれだけの時間とエネルギーを費やすのだろうか。星の家のサポートにマニュアルや技法はない。ひとりひとりの青少年と格闘し、一人ずつ送り出していく支援は、いわば「手作業」である。

今年度は青少年の自立を支える会にも長年の実績を認められて大きな予算がついた。星さんが「やっとこんな日が来たんだなあ」とぼつりと言った。今ほど「手作業」をする人が求められる時はないのではないだろうか。

これからも星の家を求めてくる青少年をどう支援するかが、スタッフに与えられた絶え間ない課題になるだろう。「手作業」の支援の積み重ねの根底に流れている青少年の自立を支える会の支援の哲学に期待したい。

5月31日（日）、令和2年度 青少年の自立を支える会 定期総会が新「月の家」で行われました。

総会報告

新型コロナウイルスの影響で、今年の総会は新「月の家」にて少人数での開催となりました。

11時05分開会。入院中の星理事長に代わって林副理事長より開会挨拶がありました。

出席の正会員数11名、委任状114名で、会員総数183名の1/5の定足数37名を満たしており、本総会は成立しているという報告がありました。

議長に福田事務局長、議事録署名人に石川浩子さん、星美帆さんを選任して議事に入りました。

第1号議案「2019年度事業報告並びに収支決算について」

事務局、「星の家」「はなの家」「月の家」「子どもの居場所担い手育成事業」から、それぞれの事業報告があり、「2019年度支える会収支決算」についての説明がありました。続いて、宇賀神監事から、令和2年5月26日に星の家で実施した会計監査の結果「適正に処理されている」との報告がありました。

第1号議案は、全会一致で承認されました。

第2号議案 「令和2年度事業計画並びに予算案について」

新型コロナウイルスの関係で、5月開催予定の研修会、9月開催予定の星の家まつり、2月開催予定のチャリティコンサートが中止になるため、寄付金を募る予定との話がありました。事務局、「星の家」「はなの家」「月の家」「子どもの居場所担い手育成事業」から、それぞれの事業計画案の説明がありました。

また月の家の補助金が1300万になったとの説明もありました。

第2号議案は、全会一致で可決されました。

第3号議案「役員の補充について」

福田事務局長より、星美帆さんを役員に選任、補充したいとの説明がありました。

第3号議案は、全会一致で承認。星美帆さんも即時就任を承諾しました。

その他、新「月の家」についての説明があり、7月より新「月の家」に移っての利用が始まるとの話がありました。

全ての議案が原案どおり可決され、福田事務局長が議長を降り、11時50分閉会となりました。



新しい月の家での総会

2月24日（月・振休）、2019年度 第21回 青少年の自立を支える会コンサート

~日本が誇るジャズシンガー 伊藤君子！！ ×ジャズ&ラテンバンドの熱演！！~が
宇都宮市文化会館大ホールで開催されました。

2月24日、宇都宮市文化会館大ホールにて、
第21回青少年の自立を支える会チャリティコ
ンサートが行われました。会場には1000人を
超えるお客様にご来場いただき、大盛況でした。

今年のコンサートの第一部は、宇都宮を拠点
に活動するラテン・サルサバンド
「ORQUESTA de ごじゃる！」、第二部は、老
舗のジャズビッグバンド「スウィング・ハ
ード・オーケストラ」、そしてスペシャルゲスト
に日本を代表するジャズシンガー伊藤君子
さんを迎えてのコンサートとなりました。

なお、収支は以下の通りです。

収入の部	<u>1,946,520 円</u>
チケット代	1,645,000 円
広告代	181,000 円
寄付・募金	120,520 円
支出の部	<u>1,146,062 円</u>
会場費・音響照明	740,450 円
印刷通信・雑費等	405,612 円
差引利益	<u>800,458 円</u>



会場に足を運んでくださった方から、「素晴
しかった！」「大満足！！」という感想をいた
だき、大変満足度の高いコンサートとなりまし
た。

会場準備、運営などに携わって下さった沢山
のボランティアスタッフの皆さん、お客様とし
て来て下さった皆さん、チケットを購入して下
さったのに会場には来られなかった皆さん、そ
して無料でご出演いただいた出演者の方々、す
べての方に感謝いたします。

子どもの居場所担い手育成事業専門研修会

(2019年度 第5回)が開催されました。

日 時 令和2年2月13日(木)

テーマ 「家族支援の現場から」～気になる子どもを居場所で見ることの意義～

講 師 社会福祉法人養徳園児童家庭支援センターちゅうりっぷ

副センター長 片桐 洋史 氏

児童家庭支援センターにおいて、地域の保護者や子どもと関わってきた経験から、対象者へのアプローチや支援の考え方について話を聞きました。児童家庭支援センター「ちゅうりっぷ」では、生後6カ月から18歳までの子どもの一時預かりを行っており、放課後に一時預かりを行っている居場所との共通点も多くありました。

地域に、「子どもの居場所」を作るメリットとは

その1

- ① 虐待リスクを一時的に下げる。
- ② 保護者の育児負担を軽減する。
 - ・居場所で子どもを預かり、生活を共にすることで、この子供を育てる保護者の大変さを実感、理解できる。
 - ・一方で、保護者とのかかわりを通して、育児が大変だと感じる保護者側の要因を見つけることができる。
 - ・子どもを預けることは、保護者が現状を何とかしたいという積極的な意欲のあらわれである。
 - ・地域が保護者を支えるきっかけになる。



その2

- ① 「子どもの居場所」は癒しの場である。遊ぶことが癒しになり、自分を認められることで自己肯定感を高めることになる。
- ② 子どもが安心感、安全感を十分持つようになれば、保護者の前で出てこなかった本児のよさ(思いやり、優しさ)も出てくる。そのことを保護者に伝え、保護者の「がんばり」を支えていく。

最後に

- ・本来は、保護者と愛着関係を持ち、その中で育てられると自己肯定感をはぐくみやすくなり、学校など家庭の外でも安定した人間関係を築くことができる。
- ・保護者が愛着対象にならなかったとしても、子どもがその後の人生で出会う大人が、まず安全基地になることが大切である。

安全基地（「子どもの居場所」）＝安全感を脅かさず、安心できる関係

コロナ禍での居場所

2020年度 栃木県子どもの居場所連絡協議会が開催されました。

日時 令和2年6月9日（火）

場所 月の家

参加者 「子どもの居場所」関係者17名、県職員2名、事務局2名

栃木県子どもの居場所連絡協議会は、県内9か所の「子どもの居場所」が加入し、情報交換の場、事業の充実発展を目的として設置されています。事務局は、青少年の自立を支える会におかれ、会の運営を行っています。

コロナの影響で、3月から急遽学校が休校となりました。ステイホームで、大人も子どもも家にいる時間が増え、児童虐待やDVの増加が心配されました。

感染の恐れが高い中、多くの居場所が子どもを受け入れ、子どもや家族を支えてきました。どんな心配があったのか、どう過ごしたのか、休校中の家庭はどのような様子だったのか、各居場所の様子を、少しだけですが紹介します。

【居場所での過ごし方】

- 原則1家族の受け入れ。利用家族には、検温と県外に行き来しないようお願いした。
- 時間を短縮し、利用者も制限した。高齢者がいる家庭には、感染リスクから居場所の利用を遠慮してもらった。その代わりに、食材を届けた。
- 居場所では、なるべく外にでないようにし、

プロジェクターを使って映画会をした。

- 居場所は休み、お弁当を利用者に配った。メッセージをつけたら喜ばれた。
- 図書館もやっていない、どこにもいけない、と辛かった。部屋の中の生活で、感染リスクが高かった。
- 非常に心細かった。スタッフも命がけだった。他の居場所はどうしているのだろう、と思っていた。今日話を聞いてよかった。

【子どもの状況、利用者の家庭の状況】

- コロナの感染が怖く、居場所を利用しない家庭もあった。
- 学校が休みで、引きこもって、ゲームにふける子どももいた。
- 不登校だった子どもも、コロナで分散登校になったら、スムーズに学校に行けた。
- しばらく居場所を休んでいた子どもと久々にあったら、げっそり痩せていた。
- 不安定な保護者の場合、感染が怖くて、家から出られない家庭もあった。



栃木県内「子どもの居場所」一覧

名 称	設 置 団 体	所在地
ユアプレイスひだまり	認定NPO法人だいじょうぶ	日光市
高德ひだまり		
月の家	認定NPO法人青少年の自立を支える会	宇都宮市
シリウス	NPO法人ピリープ	小山市
にじのいえ	NPO法人キッズシェルター	那須塩原市
おひさま	NPO法人子どもの育ちを支える会さくらネット小山	小山市
やぎハウス	NPO法人すくすく子育てやぎハウス	那須塩原市
こどもの部屋たんぽぽ	認定NPO法人蔵の街 たんぽぽの会	栃木市
もうひとつの家アットホームきよはら	社会福祉法人とちぎYMCA福祉会	宇都宮市

《事務局から》

新型コロナウイルス感染拡大防止のために「星の家まつり」及び「チャリティーコンサート」を中止といたしました。それに伴う減収を補うために緊急寄付を呼びかけさせていただいています。

寄 付・会費納入者

令和元年7月 1 日から令和2年6月末まで 敬称略・順不同

●正会費

済生会乳児院ひまわり会 阿久津マキ子
 浅香 勉 浅香のり子 浅川信明 天池悦子
 天野幸子 荒川泰行 安城興一 安城まさ子
 飯村慎一 生野裕子 池谷正宏 石川浩子
 石島浩子 石原幹司郎 糸井 克 伊藤 一
 伊藤米子 岩本友子 上田由美子 植竹 清
 内山成史 遠藤 忠 大島 聡 大堀美知
 岡 孝夫 小材嘉子 小野澤喜美 小山祐二
 片桐洋史 加藤祥圭 加藤雅子 川崎直美
 川鍋節子 北村光弘 倉持まゆみ 車田孝夫
 毛塚義明 古口 保 越井みどり 小林幸正

小堀 泉 近藤峰明 齋藤一明 斉藤幸子
 齋藤修一 齋藤洋子 坂本真紀子 笹沼栄子
 佐々木康子 渋川典子 白上桂子 鈴木啓市
 鈴木崇宏 鈴木友之 曾根美穂子 高久和男
 高橋昭彦 高橋とも子 高橋文吉 高原恵子
 田崎祥江 蓼沼初枝 田村 隆 多門 孝
 千野ヤイ 手塚美知子 寺崎恵美子 直井茂
 豊田省子 仲西美奈子 中村明美 中村和子
 中村恵美子 中山裕美子 野中芳久
 萩原耕三 橋本寿美子 橋本正行 畠山由美
 埴 智江 桧山智子 桧山康子 福澤英子
 福田知恵 福田初美 福田雅章 藤平一恵
 星 紀彦 本田広美 増淵民子 松本甚一
 柳田 俊 矢野浩美 矢野正広 山口京子
 山口恵子 山田昭利 山田みや子 横松 晃
 渡辺やす 渡辺陽子 渡辺ヨシ子

●賛助会費

(有)在宅サポートこころ 弁護士法人のぞみ法律事務所 医療法人ひだまりの森クリニック理事長斉藤義弘 ミノリ理容所
青木紀夫 阿部充子 阿部美代子 新井重陽
荒井敏子 荒川明美 五十嵐紀久子 池節子
井田紫衣 市川義章 井上紀代子 岩室紳也
上田昌弘 上野貞雄 浦部延子 大浦智子
大木一俊 太田黒武久 大塚武昭 大野育代
大畑玲子 大平友子 岡本貞子 小川智暁
小川 守 小野崎千鶴子 小野澤昭吉
柿沼恵美子 角海京子 影山五月 片岡昌子
片岡心さ子 金子澄子 金塚伸子 上岡和江
上明戸晋史 上明戸智子 亀田文子 川辺晋
川辺佐知子 菊池崇訓 岸 礼美 君嶋福芳
倉田一成 倉田克己 古頭岳夫 児玉恵里
後藤隆 小森峯子 小林三千代 小堀栄美子
斎藤孝子 齋藤信子 齊藤好江 坂本節子
坂本政子 坂本恭男 櫻井きよ子 佐藤明宏
佐藤文代 佐藤正行 佐藤正徳 佐藤善光
芝野行雄 渋井洋子 下泉秀夫 下山千恵子
東海林深喜 小友茂 菅又里美 早乙女順子
高野孝男 高橋真知子 竹内美由紀 橘正子
館野晴代 谷 博之 谷川尚久 谷川麻記
谷崎 誠 長 正英 鶴田智子 鶴田 誠
手塚郁夫 寺内晴美 東城守 長久保ウタ子
長坂聖子 長島久登 中村和夫 中村右子
那須恵子 西岡 隆 西山智彦 根本智子
野澤洋子 萩原寿夫 橋本憲子 原田寛子
樋口周二 人見智子 日野奈々子 平木 元
平野 敬 廣瀬 裕 福岡 昭 福田喜江子
福田静江 藤岡浩美 藤田千秋 藤田美代子
藤平浩史 藤本 早 古澤栄子 細野重信
増田容子 増山民江 増山 均 松島澄子
松本美佳子 村尾光子 村上信子 村山雅子
森久美子 安正幸 谷田部武男 山口慶之助
山口静江 山口尚子 山本文枝 湯沢千恵子
湯澤典子 吉川泰夫 吉澤卓男 吉田久枝
米永麻衣子 米山雅子 林谷和憲 林谷政子
和久井隆 鷲尾良司 渡辺厚子 渡邊里子
渡辺秀子 渡邊正芳 渡部桂子

●寄付

宇都宮南0-列-クラブ 宇都宮陽南0-列-クラブ
宇都宮中央ライオンズクラブ 三栄不動産(株)
済生会乳児院ひまわり会 女性の自立を支える会
人権ウィークとちぎ 東京電力労働組合栃木地区本部
栃木少年友の会 栃木つばさの会 那須塩原支部
那珂川町更女会 長靴をはいた猫(株)ニッカネ
医療法人ひだまりの森クリニック理事長斉藤義弘
MCC 峰町キリスト教会光と風の家
青木伸恵 阿久津美千代 浅香勉 阿部充子
新井重陽 新井 茂 新井照子 荒川明美
荒川泰行 池 節子 石川浩子 石塚純江
石塚 毅 石原敏江 井田紫衣 糸井 克
岩本友子 上田昌弘 植竹 清 浦部延子
海老原清修 遠藤 忠 大浦智子 大金玲子
旺季志ずか 大木時子 大嶋洋子 大野育代
大平友子 岡田みち子 岡部昇子 小村嘉子
小川八枝子 小野崎千鶴子 柿沼真理
角海京子 笠原雅江 梶田みどり 加藤力ヨ
加藤祥圭 加藤雅子 加藤美恵子 鎌田篤子
金川実千代 上明戸晋史 上明戸智子
川田俊彦 菊地章夫 岸本都史夫 北村光弘
吉光寺俊子 車田孝夫 小泉邦子 古蔵恒雄
倉前満里子 小坂博子 古頭岳夫 小平光志
児玉恵里 後藤 隆 小林幸正 小堀 泉
小堀栄美子 小堀道和 駒場 敏 近藤峰明
齊藤好江 齋藤一明 齊藤幸子 斎藤孝子
齋藤信子 齋藤洋子 齊藤好江 坂本政子
佐久間孝子 笹沼栄子 佐藤明宏
櫻井 きよ子 佐々木康子 佐藤 貴美子
佐藤 文代 佐藤 マサノ 佐藤 まゆみ
佐藤 由紀子 椎野 三千子 塩澤 幹雄
下里好子 新宮晴子 鈴木友之 曾根美穂子
直井高子 高木 勇 高久和男 高久礼子
高野孝男 高橋昭彦 高橋文吉 高原恵子
竹内敏雄 竹澤安子 蓼沼初枝 館野晴代
田村孝夫 田村嘉應 多門 孝 槌江徳子
土屋キミ 手塚美知子 寺内晴美 豊島優子
寺崎恵美子 豊田省子 直井 茂 永野弘子
長嶋須美子 中村さん 中村和子 中村光子
松永昌子 野中芳久 萩原耕三 萩原寿夫
畠山由美 八谷直子 早川美奈子 林 香君
人見智子 日原典子 桧山康子 平澤照隆

福澤英子 福田静江 福田知美 福田初美
福田雅章 福原明彦 星 紀彦 星 秀彦
本田広美 前澤一雄 増淵民子 松島輝幸
松田 完 松永昌子 松本甚一 三浦正宏
村山雅子 安田健太郎 柳田 俊 矢野正広
山口京子 山口恵子 山越浩子 山崎順子
山田倫代 山本道枝 山本 緑 横松 晃
吉澤道子 米山雅子 林谷政子 若林勝治
和久井 隆 和田寿子 渡辺厚子 渡辺秀子
渡辺陽子 渡辺ヨシ子

なお、沢山の方から食品や日用品などの物品をいただいております。ご芳名は省略させていただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。会費の納入及び寄付については預金口座の引き落としも可能ですので事務局にご相談ください。

●団体会費

芙蓉地質株式会社 養徳園
MCC 峰町キリスト教会光と風の家

【編集後記】

コロナ禍で仕事が……星の家の約束は「働いて生活費 3 万円を入れること、預金をする事」だ。働きたくても仕事がない。当然、負担金 3 万円も払えない。星の家まつりもチャリティーコンサートも中止。

緊急寄付、ご協力をお願いします。(福田)

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

* 通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、

正会員：5,000 円、賛助 A：5,000 円／一口、賛助 B：1,000 円／一口、賛助団体 20,000 円／一口です。

*** 振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落とし」のご利用をお勧めしております！***

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48
発行日/ 2020年8月 電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024
発行責任者/ 星 俊彦 Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
編集責任者/ 福田雅章 HP/ <http://www.jiritsu.org>

